

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年5月12日

事業所名 社会福祉法人 とよみ福祉会 キャンディーズ

		チェック項目			はい		どちらともいえない		いいえ		工夫している点		課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	2	0	・安全面に配慮し、スペースを確保している。 ・室内活動、屋外活動を行う利用者を分け、密集しないよう取り組んでいる。	・活動室は適切な広さを確保しているが、活発な子が動き回ると安全面の確保が難しいと感じることもある為、必ず職員が様子を見守っている。							
	2	職員の配置数は適切である	1	2	1		・適切な人員を配置しているが、支援を多く必要とする利用者が増え、よりよい支援の為に職員の配置を努めている。							
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	0	4	0	・個々に合わせ声掛けや手添え等、安全面に配慮している。	・トイレに手すりを設置している。 ・民家(築数あり)の為、段差があり、バリアフリーではない。配慮、声掛け等が必要な方へ個々に適切な対応を行っていく。							
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2	0	・週に1回職員会議を開き、意見を交わす場を設けている。	・業務改善が必要な時は早急に話し合い、職員間で周知、振り返りを行っている。							
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	0	・アンケートを配布するだけでなく、面談の際にも項目を問いかけ、意見を聞く場を設けている。 ・気になった事は保護者へ確認し意見を聞いている。	・保護者の細かな意見を聞き、業務改善に努めたい。							
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	0	・公開している。	・当法人ホームページ、ブログに公開している。 ・評価結果表を配布した。							
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3	1		・第三者への外部評価を検討したい。							
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	0	・研修に参加している。 ・職員間で資質向上の為に話し合い、スキルアップができる場を設けている。	・法人内で研修を開催し参加している。 ・状況を判断し研修へ参加している。							
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	・職員間で話し合い、利用者、保護者のニーズに沿える支援方法を検討し作成している。	・定期的にあセスメントをとっている。 ・利用者、保護者、学校等よりニーズや意見を確認し、ニーズに沿った適切な支援を検討、計画書を作成している。							
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	0	・使用しているアセスメントツールに気付いた点を詳細に記載している。	・個々の状況に合わせて保護者や学校担任に状況を説明し聞き取りを行い、職員間で情報を共有している。							
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	0	・利用者が楽しめる、経験が増える活動を計画し取り組んでいる。 ・職員は細かに話し合い、プログラム内容を分担して取り組んでいる。	・活動時にはプログラムを立案し、役割分担、細かな支援方法について検討している。							
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	1	0	・活動が固定化しないよう取り組んでいる。 ・利用者がやってみたい活動を話し合い、計画し取り組んでいる。	・状況を判断し屋外活動を取り組んでいく。 ・個々の興味や楽しみが見出せるよう取り組み、季節や地域の行事、食育について学ぶ機会を設けている。							
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	0	・長期休暇時には普段取り組みが難しい活動に取り組んでいる。	・平日、長期休暇の際には課題を変え取り組んでいる。 特に長期休暇時には充実した集団活動訓練を設けている。							
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	・個々の状況を確認し個別活動、集団活動を行い、将来に向けた取り組みを行っている。	・利用者の特性や課題、ニーズに沿って作成している。							
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0	・活動前に打ち合わせをする場を設け、再度確認している。	・活動前には役割分担を確認し、保護者の連絡や学校からの引継ぎ等を職員間で確認し取り組んでいる。							
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	0	・1日を振り返り、気付いた点・気になる点は職員に周知し、状況を確認している。また日誌に記入し共有している。	・利用者帰宅後または翌日、振り返りを行い、支援の取り組み方を話し合い、利用者の変化等を共有している。 ・気になる点はその後の支援でどのように変わったのか職員会議で経過報告をする場を設けている。							
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0	・毎日、日誌を記録している。 ・利用者の表情や行動、様子等を細かく記載し職員間で共有、支援方法を検討している。	・利用者の行動や様子、支援の取り組み方、支援時の変化等を日誌に記録し、改善できるよう努めている。							
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0	・ご家庭や学校、関係事業所の支援時の様子と比較し、計画の見直しを検討することもある。	・定期的にモニタリング会議を行っている。職員間で話し合いを設け、日々の活動の様子を細かく分析、計画を見直している。							
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2	0		・職員全員がガイドラインを周知できるよう確認する。							

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	0	・活動時の細かな情報を伝えている。 ・担当者会議で得た支援方法等の情報を文書で確認し職員間で共有している。	・状況を判断し、会議に参加した。電話対応も増えた為、より細かな情報を伝えている。 ・今後は支援に関わる職員も参加し情報を共有したい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生)	4	0	0	・挨拶はきちんと行い、適切な言葉遣いを努めている。職員は明るく接し、話しやすい環境を心がけている。 ・学校からの連絡は職員間で共有している。	・密に学校と連絡を取り確認、適切に対応している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	4		・医療ケアが必要な方は在籍していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	3	1		・保育園や幼稚園を卒園した年は情報を共有していたが現在は情報を共有する機会がない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等	4	0	0	・退所後も情報をきちんとまとめ、適切に保管している。	・利用時の情報を保管しているので要望があれば提供することができる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	1		・コロナウイルス蔓延防止の為、参加は控えた。今後は状況を検討し参加していきたい。 ・助言などが必要な時は連携していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	2	2	・児童館の情報を確認し参加を検討した。	・コロナウイルス蔓延防止の為、参加は控えた。今後は状況を検討し参加していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	0	0	・自立支援協議会が主催するイベントに参加できるよう計画を立て活動に取り組んでいる。	・地域自立支援協議会の定期的な会議に参加した。 ・イベントの運営に参加した。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	0	・活動で気になった点は早急に保護者へ連絡し自宅の様子や今後の取り組みについて確認している。日誌に記録し職員間で周知している。	・気になる点や状況等は送迎時や電話連絡、連絡帳に記載している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	1	1	・保護者から連絡があった時は傾聴し、丁寧な言葉遣い、安心できる声掛けを努めている。	・保護者より子育て、ご家庭での対応に関する困りごとの連絡があった時は解消できるよう努めたい。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	0		・契約時や面談時に丁寧に説明し施設内に掲示している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1	0	・話しやすい環境を設け、保護者からの相談時には傾聴し返答している。 ・相談があった時は記録し、職員間で共有している。	・連絡帳への記載や帰宅時の引継ぎ時に声掛けがあった時は傾聴し適切な助言ができるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	2		・コロナウイルス蔓延防止の為、保護者会は開催していない。保護者会設立時には協力し保護者が参加しやすい環境を作りたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速	4	0	0	・日頃より話しやすい環境を設け、迅速、適切な対応を心掛けている。 ・苦情があった際は苦情報告書に記載し法人管理者へ報告、職員間で周知、改善に努めている。	・法人内でご意見箱を設置している。 ・苦情や意見は真摯に受け入れ、改善に向けて話し合い、支援員間で共有する。また話し合いの内容、今後の取り組みについて伝えていく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	0	・行事前、利用者が周知できるよう絵や理解できる言葉でお知らせを作成、掲示している。 ・個別に便りを発行しているケースもある。	・毎月、定期的に事業所便り、法人便りを発行している。 ・日々の活動をブログで紹介している。 ・行事予定は連絡帳や口頭にて連絡し、確認している。
	35	個人情報に十分注意している	4	0	0	・年度初めに個人情報について保護者に取り扱いを確認している。 ・法人広報、事業所だより、ブログ、写真掲載等、個人情報保護に努めている。	・個人情報はきちんと管理している。就業規則の守秘義務の規定を確認し個人情報の保護の遵守に努めている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0	・ゆっくり丁寧な言葉遣いを努めている。 ・文字盤やイラストなど使い、理解が得られるよう取り組んでいる。仕草、表情を見逃さず、関わりを持っている。	・今後も利用者個々が理解できる声掛け、文字盤、イラスト等を使用し意思の疎通を行っていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	2	0	・コロナウイルス蔓延時は見学を断った。 ・見学時間を決め、事業所見学を受け付けている。	・毎年、法人主催で祭りを開催し、地域の方々と交流できる場を設けている。コロナウイルス蔓延防止の為、規模を縮小して開催した。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	0	・各マニュアルは確認しやすいよう綴り、保管している。	・職員間でマニュアルを確認している。保護者へ周知できるように努めていく。 ・台風時の対応、コロナウイルスの感染時の対応について保護者へ文書を配布した。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	0	・利用者が防災について意識を高めることができるようクイズ形式で取り組んでいる。 ・多くの利用者が避難訓練に参加できるよう日程を調整している。利用者を交え、訓練後の反省会を行っている。	・2カ月に1回、利用者・支援員間で非常時の勉強会、避難訓練(火災・地震津波)、避難訓練の反省会を行っている。 ・東日本大震災について学ぶ機会を設けている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	0	・日頃より虐待についてのケースや情報などを話し合う場を設けている。 ・虐待に繋がるのでは?と想定される行動を検討する場を設けている。	・毎年、法人内で障害者虐待防止研修を開催、参加している。また地域自立支援協議会が開催する児童虐待防止研修、障害者虐待防止研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	0	・身体拘束について支援員間で周知し共通の認識を持っている。 ・やむを得ず身体拘束をする場合を想定し面談時に保護者へ確認、文書へ記載している。	・個別支援計画時に保護者へ身体拘束について説明、確認し個別支援計画書に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	4	0	・食事会などの開催前に食物アレルギーの確認を行った。	・食物アレルギーがある利用者がある時は保護者・医師との連携をとっていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	0	・インシデント報告書へ記載し法人管理者へ報告している。重大なアクシデントに繋がらないよう活動時のインシデントを確認する場を設けている。	・法人内でインシデントの報告書をまとめ、支援員間で共有している。また会議等で話し合う機会を設け、今後の対策を立てている。